

- 会 期 : 2006年6月10日(土)～10月15日(日)  
休 館 日 : 月曜日(ただし7月17日、9月18日、10月9日は開館)、  
祝日の翌日(7月18日(火)、9月19日(火)、10月10日(火))  
開館時間 : 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
観 覧 料 : 一般250(150)円 20歳未満・学生150(100)円 ( )内は20名以上の団体料金で  
す。  
65歳以上の方、高校生以下の方、障害者の方は無料です。  
会 場 : 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館  
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1 tel.0467-22-7718  
主 催 : 神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館には、日本の近代彫刻を中心に500点を越す彫刻作品が収蔵されています。

明治時代に紹介された西洋の塑像技術は、写実的技巧を重視するアカデミズムを形成する一方で、大正期になると近代的な自我にめざめ、個性や生命感といった内面的な表現を追求した高村光太郎や中原悌二郎などの芸術を生み出しました。

第二次大戦を経て1950年代になると、彫刻の表現は素材、形態ともに多様な展開を見せます。さらに1960年代の高度成長期には、野外彫刻運動など、彫刻をめぐる場所のありかたも多様化しました。当館は、これまでもこうした近代から現代にかけての彫刻作家を積極的に取り上げ、紹介してきました。

本展は、戸張孤雁ら大正期の作品から、柳原義達、木内克などの戦後の作品、そして現代作家の仕事まで、彫刻というジャンルの多様な展開を、近代から現代への変容という視点から当館の収蔵作品で追う展覧会です。



仲田定之助《頭部》1924年



戸張孤雁《煌く嫉妬》1924年

詳しくは、美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。

[http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2006r\\_chokoku\\_henyo.pdf](http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2006r_chokoku_henyo.pdf)

お問い合わせ先: 神奈川県立近代美術館 鎌倉 〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53  
tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464 広報担当: 林 展覧会担当: 三本松  
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>